

# 朝刊太郎改を公開



1月1日(仮)

銀河系太陽系第3惑星  
太郎通信舎

朝刊太郎改の置き場  
<https://chokantaro.com/>

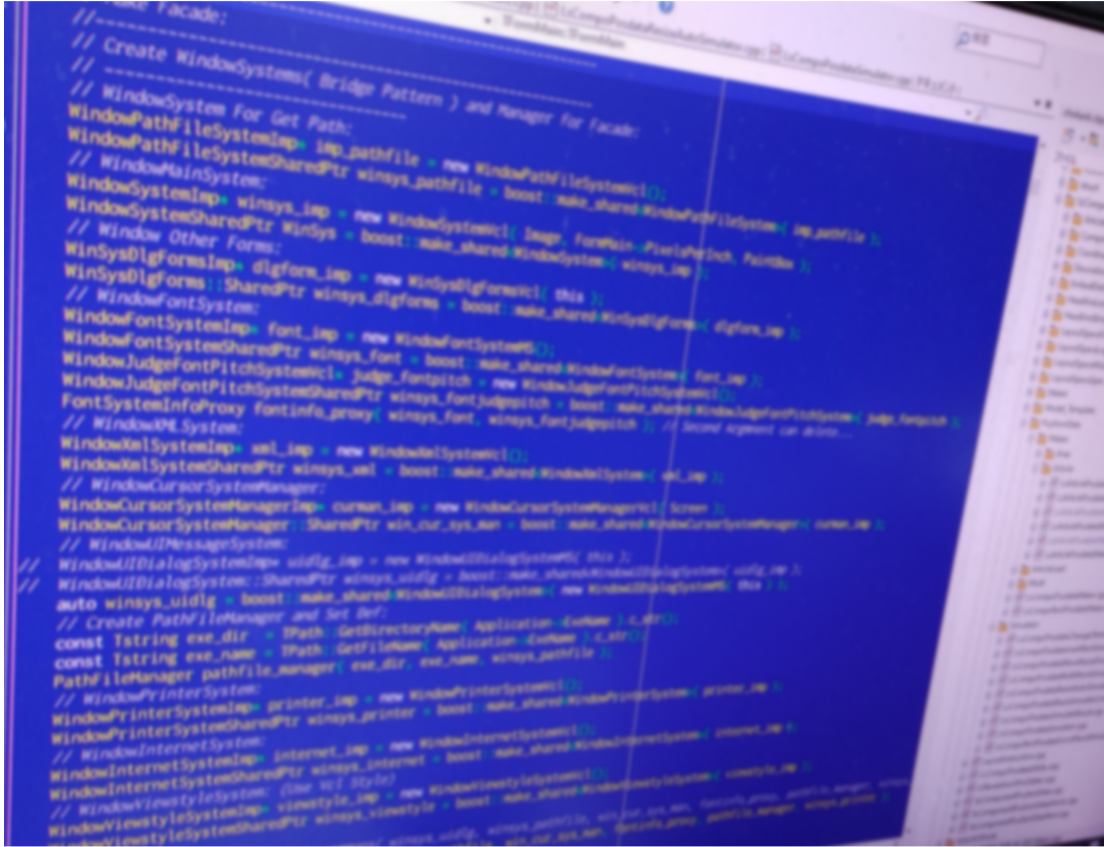
きょうの紙面

- 2 強力な全文検索機能
- 3 ルビや異体字に対応
- 4 「雛形」で素材再利用

## 新聞編集に特化

## 18年ぶり正式版

新聞専用のDTPフリーソフト「朝刊太郎改」が正式公開された。記事操作だけでなく見出しや画像など新聞独自の編集が手軽に行える。20世紀末に初公開された旧「朝刊太郎」の後継版。基本操作はおおむね踏襲しつつ、大幅な機能強化が図られている。正式版としては18年ぶりとなる。



「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

本格的な「新聞」を作成するための機能を備えている。新聞独特の見出しはもちろん、写真の説明文処理、コラムや連載等の箱組も作れる。記事処理は、新聞の禁則処理を実現。ワープロなどの「ぶら下げ」や文字詰めが無く、常に行末が揃った美しい体裁が可能だ。

操作に習熟すれば、大手新聞とほぼ同一の紙面を作成することも(天気図など特殊なものを除けば)不可能ではない。多段組という形態に合わせた組版処理も直感的かつ簡便に行える。位置を正確に決めなくても、アバウトに指定すれば右か左の端にくっつく「置く」、記事スペースを決めなくても、適正な位置で折り返す「畳む」。こうした操作が、最低限のマウス操作で実現できるように工夫されている。

4ページ建てなど複数ページの新聞を1枚の用紙に表裏印刷するマルチ印刷機能、いったん作った紙面や箱組の「型」だけを保存し、何度でも呼び出して再利用できる「雛形」。使えば使うほど、短時間で紙面が行うための工夫も満載。

独自の禁則自動で実現  
ワープロなどとは異なる、新聞独自の禁則処理が自動で行われるのも特徴である。句読点や括弧類など、文

頭・文末には配置できない禁則文字。ワープロのようなカーニングやぶら下げがなく、句読点等の約物を半角分の領域で描画する。半角描画ができない場合は、文字間を均等に空ける。本ソフトでは、これらの処理を、完全に自動で行う。

### 置く 流す 畳む 抱え畳み

一般的なワープロやDTPソフトと異なる独特の新聞組版を直感的な簡易操作で行える。見出しや画像を紙面に配置する「置く」作業。だいたい位置をダブルクリックすれば最も近い素材が紙面端に自動的にくっつく。記事を区切る縦の罫線は、矩形等のだいたい近くをドラッグすれば、やはり密着する。記事もアバウトな位置指定で、右の素材の隣から流れる。

#### 独特の組版直感的操作

### 充実ヘルプ100%超

作者サイトのオンラインヘルプは総107%。豊富なスクリーンショットで使い方を解説している。紙面例も多数。操作中にF1キーを押すと、関連するヘルプ一覧が表示され、ブラウザで該当ページを開ける。ヘルプ内の全文検索も出来る。ヘルプ内サイトには操作動画やQ&Aも用意している。

## 見出しエトキ箱組

## 必要機能を網羅

ワープロや汎用DTPソフトでも多段組の新聞形式の文書は作成できるが、見出しや写真説明を適切に作るうとする手間は掛かる。本ソフトでは、こうした新聞独自の素材をあまり手間をかけずに用意する工夫が凝らされている。文字サイズの異なる複数の文を組み合わせる見出し。全体の大きさを決めれば、あらかじめ文字サイズやバランスを適切に設定し

たパターンを複数提示。選んで、文字を打ち込むだけで「新聞見出し」が完成する。文字扁平や多彩な地紋も設定できる。写真の上下左右に説明文が付いた、いわゆる「エトキ」も同様だ。エトキ文説明文も、専用画面で位置を選んで文字を打ち込むだけで完成する。文字サイズも記事本文に合わせた適切な大きさが事前設定される(変更可能)。写真の一部だ

けを切り取るトリミングはマウスでもキー操作でも直感的に行える。紙面のアクセントになったり、凝った紙面作りにも活用できる「箱組」も作成できる。見出しと同様、文字組や段間の置き方など標準的な設定を施した複数パターンがあらかじめ提示される。紙面設定より難しい段間の計算など、面倒な設定を省略できる。こうした標準パターンを後から変更も

### 開発手帳

20世紀末に旧「朝刊太郎」を公開して四半世紀近く。こんなにも長く使用され続けているとは全く想定していなかった。あまりに古いPC環境をベースに作られた旧版で、できるだけ機能や操作性は維持しつつ、今後も使用可能なように全面改良した「朝刊太郎改」が、ようやく完成した。大量の新機能も追加された▼この20年余りでニュースはネットで読む習慣がますます根付いたようだ。けれど、あらゆる情報が並列して更新され続けるニュースサイトと違い、新聞はあ

出来る。なおこの記事の隣は箱組だ。これらの素材はひとつの固まりとして扱えるため、紙面からいったん外して別の位置に再配置したり、紙面上で直接移動するなど、部品感覚でレイアウトできる。



このPDFはCCライセンスで配布され、営利・非営利を問わず自由に利用できます。改変は不可です。

題字下の「太郎通信舎」は架空の団体名であり、仮に同名の組織・団体が存在した場合、この新聞とは無関係です。紙面内容は今後変更される可能性があります。